足利武千代（あしかがたけちよ）　國字改良論者。生歿年不詳。足利氏二十六代目。

同志社に入學。新島襄に直接學んだ最後の一人で、〈足利銀行の頭取をやめて海老名総長を援けて庶務課長となつて同志社に来られ、財政部面まで切りまわし〉（住谷悦治）たといふ。

著書『御大典記念ゴオンヨーー御恩寵語音調』（大正五年八月二十五日栃木・自刊、警醒社書店發賣）、『カナノ コワイロ（國語明徵）一フロク・カナノ ヒカリ』（アシカガ タケチヨ名、昭和十四年五月二十日自刊、三省堂發賣）等。